



報道関係各位

令和8年8月19日

「サザエさん一家の“もりのわ”話 吹き出しコンテスト」の 受賞作品が決まりました

- 「サザエさん一家の“もりのわ”話 吹き出しコンテスト」は、今年で4回目を迎え、全国から 1,313 作品が応募。
- 4つの優秀作品が決定。

「サザエさん一家の“もりのわ”話 吹き出しコンテスト」の受賞作品が決定しましたのでお知らせします。

表彰式は令和8年10月29日(木曜日)に開催する予定です。

1. 概要

本コンテストは、長谷川町子美術館の協力を得て、林野庁が「みどりの感謝祭」の併催行事として令和5年度から開催するもので、令和8年度で4回目となります。

「サザエさん」の4コマ漫画の吹き出しに、森林、木、木材又は「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用などをテーマにしたセリフを入れて応募していただくもので、4月10日(金曜日)から5月29日(金曜日)までの募集期間に、国内各地から1,313作品の応募をいただきました。

この中から、(ア)森林・林業・木材産業の大切さの普及啓発につながるもの、(イ)4コマ漫画の流れに合うもの、(ウ)サザエさん一家がもつ雰囲気を感じられるもの、という観点を重視して選考を行いました。

2. 受賞作品

外部有識者による選考委員会において、次の優秀作品4点を決定しました。

- 林野庁長官賞 2点
【受賞者】山口 尚志氏、吉田 一咲氏
- みどりの感謝祭運営委員長賞 1点
【受賞者】宇野 邦久氏
- 長谷川町子美術館賞 1点
【受賞者】五月女 佳央氏



3. 優秀作品の選考理由

- 林野庁長官賞 2点

作品タイトル「物知り」

間伐や間伐材活用の重要性が分かりやすく表現されています。また、カツオ君が「間伐材の役」をやったというオチが秀逸で、いったいどんな物語だったのか思わず気になってしまう、楽しい作品となっていました。

作品タイトル「本当に大事な事」

旅行に行ってもスマホばかり見てしまう現代人にありがちな姿や、自然や

森林に目を向けることの重要性を分かりやすく表現しています。原作漫画の魅力を活かしながら、短いセリフでテンポ良く仕上げられています。

● **みどりの感謝祭運営委員長賞 1点**

作品タイトル「ウッド・チェンジとは？」

ウッド・チェンジの意味や重要性を分かりやすく伝えながら、おっちょこちょいのサザエさんが別の理由で木製のお皿に替えていたというオチが効果的です。サザエさんとカツオ君の姉弟らしい世界観がうまく表現されています。

● **長谷川町子美術館賞 1点**

作品タイトル「森の循環」

木の香りやリラックス効果などの木材利用の魅力に加え、「伐ったら植える」という森林資源の循環利用の大切さが分かりやすく表現されています。また、カツオ君のサボりぐせという定番のオチも盛り込まれており、全体としてバランスの取れた作品です。

添付資料

優秀作品4作品



お問合せ先

森林整備部森林利用課

担当者：森業振興室

代表：03-3502-8111（内線 6213）

ダイヤルイン：03-3502-8240